



実技研修会開催にあたっての感染対策指針 Ver. 4

当日までの対応

- ① 参加者が濃厚接触者ではなく、また家族・職場等に濃厚接触者がいないこと
- ② 濃厚接触者（家庭内、職場などより）になり、最終曝露から 5 日以内の場合は、参加不可（ただし、最終曝露から 3 日目以降の抗原定性検査または核酸増幅検査が陰性の場合は参加可能）

当日の対応

- ① 屋内の場合は会場スペースの確保（キャパの 1 / 2 以下の人員）
- ② 換気の徹底 ※1
- ③ 受付時の検温と講演会前後のアルコール消毒を実施する
- ④ サージカルマスクでのユニバーサルマスクング ※2
- ⑤ マスクを外しておこなう実技練習中はアイシールドもしくはフェイスシールド着用
- ⑥ 実技ベッドの間隔を十分にとる
→可能であれば 2m 離れるくらいゆっったりとスペースを使用
- ⑦ 孤食・黙食厳守（昼食有の場合）
- ⑧ 講習会から 48 時間以内の体調不良（発熱・喉の痛みなど）を主催者へ報告を依頼する
- ⑨ 研修後陽性者が出た場合の参加者への緊急連絡先の取得（すぐに連絡が取れるように）

備考：

- ※1. 自然換気…常時 2 点以上の換気、30 分に 1 回数分間の換気
機械換気…換気扇は常時スイッチオン、空気清浄機（HEPA フィルター等）
- ※2. サージカルマスクは不織布に限る